

浦和名物 うなぎのブックリスト

読むうなぎ



●浦和のうなぎ●

浦和は川や沼が多く、昔はうなぎがたくさんとれました。江戸時代には、中山道を行き交う旅人たちに、その味が評判になりました。現在でもたくさんのうなぎの店があり、地域の味として親しまれています。

うなぎの本あります

＜さいたま市立北浦和図書館「地域資料コーナー」のご案内＞

北浦和図書館2階の地域資料コーナーでは、さいたま市や浦和区の資料を集めています。浦和の伝統産業に指定されているうなぎの本の他にも、北浦和で発見された紅赤を中心としたサツマイモの本もあります。また、浦和が登場する小説やエッセイ・文学作品などを幅広く集めた「浦和ゆかりの本」コーナーをご覧になれば、「こんなところに浦和が!？」という発見がきっとあるはずです。ぜひ、ご利用ください。



浦和とうなぎ

伝統の味を守り続けて

書名	著者	出版社	出版年
さいたま市伝統産業ガイドブック		さいたま市経済局 商工観光部商業振興課	2022

さいたま市では、「岩槻の人形」「大宮の盆栽」「浦和のうなぎ」の3つを伝統産業に指定した。各産業の技術を継承する事業所を紹介。

さいたま市技能職ガイドブック 平成26年1月発行	さいたま市経済局 経済部労働政策課／編	さいたま市経済局 経済部労働政策課	2014
-----------------------------	------------------------	----------------------	------

浦和のうなぎのお店と職人と仕事を紹介。

さいたま市の伝統産業	さいたま市経済局 経済部商工振興課	2011
------------	----------------------	------

[1枚折りたたみ]

浦和のうなぎを育てる会 うなぎの店	浦和のうなぎを 育てる会	—
-------------------	-----------------	---

[1枚折りたたみ]

浦和のうなぎ	浦和区役所区民生活部地域商工室		2022
うなぎのとれたところ 第2版	武藤公吉／著 浦和子どもの本 連絡会／編	瀬間幸子	1999

明治生まれの武藤さんが暮らした北浦和での生活を、「浦和子どもの本連絡会」がお話を聞いて記録。自ら道具を作って、天王川でうなぎを捕ったエピソードも。



うなぎを知る

意外と知らないうなぎの不思議

アフリカによろり旅	青山潤／著	講談社	2007
-----------	-------	-----	------

卵は見つからないのに、どこからともなくわいてくるウナギの不思議な生態は、江戸時代には「山芋変じてウナギと化す」と言われた。彼らの産卵場所がわかったのは、2006年2月。東京大学海洋研究所の通称「ウナギグループ」の研究者たちは、さらなる調査のため、アフリカはマラウイ共和国へやってきた。

うなドン 南の楽園によろり旅（講談社文庫）	青山潤／著	講談社	2013
--------------------------	-------	-----	------

「アフリカによろり旅」待望の続編。東大研究チームは次なるミッションのため、いざタヒチへ旅立つ。

により旅・ザ・ファイナル 新種ウナギ発見へ、ロートル特 殊部隊疾走す！	青山潤／著	講談社	2013
---	-------	-----	------

70年ぶりの新種発見という小さな望みをかけて、ウナギを求めるおっさんたちが「ロートル特殊部隊」を結成した。行先はフィリピン。強烈な暑さと湿気、フィリピン国内を駆けずり回り、泥まみれになって探す先に、新種は現れるのか？

爆笑問題のニッポンの教養 24 「脱出したい！」のココロ	爆笑問題／〔述〕 塚本勝巳／〔ゲスト〕	講談社	2008
---------------------------------	------------------------	-----	------

爆笑問題の2人が、ウナギ研究の第一人者、塚本教授の研究室を訪問。海生まれ、川育ちのウナギの回遊の行動は、松尾芭蕉が「奥の細道」でいう「そぞろ神」に通じるという。ウナギはどうして旅をするのか。

特集 ウナギの不思議 NATIONAL GEOGRAPHIC 日本版 2010年9月号		日経ナショナル ジオグラフィッ ク社	2010
特集 旅するウナギの謎 日経サイエンス 2010年8月号		日経サイエンス 社	2010
特集 ウナギ完全養殖達成 FRANEWS VOL.23		水産総合研究セ ンター	2010
旅するウナギ 1億年の時空をこえて	黒木真理／著 塚本勝巳／著	東海大学出版 会	2011
うなぎのはなし		浜名湖養魚漁 業協同組合	[2008]
うなぎ百科 ナゾがナゾをよぶうなぎのすべて		日本養鰻漁業協 同組合連合会	[2008]
ウナギ 地球環境を語る魚	井田徹治／著	岩波書店	2007
ウナギの科学 解明された謎と驚異のバイ タリティー 増補改訂版	小澤貴和／編 林征一／編	恒星社厚生閣	2007
うなぎ わが国の水産業		日本水資源保 護協会	1999
ウナギのライフサイクル その解明と制御		海洋出版	1999
うなぎの本		松井魁／著	柴田書店
うなぎ 謎の生物		虫明敬一／編 太田博巳／〔ほか〕著	築地書館
希少生物のきもち どうしていなくなるの？		メイツユニバー サルコンテンツ	2021

魚のサイエンス (別冊日経サイエンス 233 SCIENTIFIC AMERICAN 日本版)	日経サイエンス編 集部／編	日経サイエンス	2019
ウナギの誕生 人工孵化への道	山本喜一郎／著	北海道大学図 書刊行会	1980
うなぎ	吉岡保五郎／編	全国淡水魚組 合連合会	1954
ウナギNOW 絶滅の危機！！伝統食は守 れるのか？	静岡新聞社／編 南日本新聞社／編 宮崎日日新聞社／ 編	静岡新聞社	2016

2000年以上もの間、謎の生物とされていたウナギ。20世紀後半にな
ってニホンウナギの研究は大きく前進し、養殖技術も向上する。うなぎの
親魚や卵を捕獲するため、ついに研究者たちは大海原へ航海に出る。

ウナギ大回遊の謎	塚本勝巳／著	PHP研究所	2012
----------	--------	--------	------

ウナギは産卵のためどこに向かったのか、ウナギはどこで生まれるのか。
その謎に挑んだ研究者たちは、海へと向かう。地道な研究と大冒険。研究
者たちのウナギへの熱い想いが伝わる。

ウナギの博物誌 謎多き生物の生態から文化 まで	黒木真理／編著	化学同人	2012
-------------------------------	---------	------	------

私たち日本人は古くからウナギに対して関心を持ち続けてきた。ウナギの
生態や、保護と完全養殖化へ向けた研究だけでなく、ウナギが育んだ食文
化・蒲焼の歴史や、神使として神聖視する信仰・禁食信仰についてまで、
さまざまな角度からアプローチし、ウナギへの理解が深まる1冊。

日本うなぎ検定 クイズで学ぶ、ウナギの教科書	塚本勝巳／著 黒木真理／著	小学館	2014
---------------------------	------------------	-----	------

意外と知られていないウナギのトリビアや裏事情や最新のウナギ科学の知
見も満載しているほか、ウナギが直面している資源問題までも取り上げて
いる。クイズ形式で答えるうちに、いつしかウナギ博士になっていること間違
いなし。

うなぎの未来 ウナギの持続的利用は可か	東アジア鰻資源協 議会日本支部／編	青土社	2013
ウナギと人間	ジェイムズ・プロセ ック／著 小林正佳 ／訳	築地書館	2016
ウナギと日本人 “白いダイヤ”のむかしと今	筒井功／著	河出書房新社	2014



うなぎとともに 生活や文化の中のうなぎ

「B級グルメ」の地域ブランド戦略	関満博／編 古川一郎／編	新評論	2008
------------------	-----------------	-----	------

長野県岡谷市の「うなぎのまち岡谷の会」の、うなぎの地域ブランド化の取り組みを紹介。

読むうなぎ	うなぎ百撰会	2004
-------	--------	------

「うなぎ百撰」の創刊20周年記念誌。19ページの小冊子ながら、うなぎと日本人のかかわり、土用丑、うなぎの生態、栄養、うなぎ好きで知られる人々とうなぎの基礎知識が満載。

浜名湖うなぎ(アンギラジャポニカ) 今昔物語	相曽保二／著	日本図書刊行会	1998
丑鰻考 「丑日の鰻」の起源を探る	遠山英志／著	青森県文芸協会出版部	1988

夏の土用丑の日にどうしてうなぎを食べるのか。庶民に親しまれてきたうなぎの歴史や民俗を、江戸の食生活から探る。

鰻のなかのフランス	中平解／著	青土社	1983
うなぎ風物誌 限定版	川口昇／著	東京書房社	1972
随筆うなぎの旅	松井魁／著	実業之日本社	1961
日本料理技術選集 37 うなぎの本	松井魁／著	柴田書店	1981
鰻・牛物語	植原路郎／著	井上書房	1960
「物言う魚」たち 鰻・蛇の南島神話	後藤明／著	小学館	1999
江戸前魚食大全 日本人がとてつもなくうまい 魚料理にたどりつくまで	富岡一成／著	草思社	2016
旅したい！おいしい浮世絵 (NHK テキスト 趣味どきっ！)	日本放送協会／編集 NHK 出版／編集	NHK 出版	2016
江戸の魚食文化 川柳を通して	蟻川トモ子／著	雄山閣	2017
結局、ウナギは食べていいのか問題	海部健三／著	岩波書店	2019
天丼 かつ丼 牛丼 うなぎ 親子丼 日本五大どんぶりの誕生 (ちくま文芸文庫)	飯野亮一／著	筑摩書房	2019

大きな目小さな目 2021 年夏号	農林水産消費安全技術センター	2021
TOKYO いい川釣れる運河 ウナギ、テナガエビからシーバス、クロダイまで 23 区は釣り場だらけ！	つり人社書籍編集部／編	つり人社 2022



全国のうなぎを味わう 日本各地のおいしいうなぎ

おかや 信州・岡谷 鮮やかに、心に響くおかやの旅。	岡谷市商業観光課 岡谷市観光協会	[2010]
------------------------------	---------------------	--------

長野県岡谷市は天竜川の源にあり、昔から続くこだわりの味を今に伝えている。マスコットキャラクターは「すわ湖太郎」と「うーなちゃん」。

浜松うなぎ本 うなぎ店情報が満載 118 店	ランチプレス／編	浜松商工会議所	2010
---------------------------	----------	---------	------

浜松のおいしい鰻屋さんを紹介したガイドブック。「浜松うなぎスタジアム」（2010 年 1 月 30 日開催）参加者に配られた限定本！

るるぶ FREE 浜松・浜名湖 春／夏 '10 うまっ！浜ぐるめ王国	JTB パブリッシング	2010
浜名湖うなぎ お料理のしおり	浜名湖養魚漁業協同組合	[2008]

[1 枚折りたたみ]

ざ うなぎ横町 せせらぎの町・三島に漂う蒲焼きの香り。	三島商工会議所 三島うなぎ横町町内会／企画・制作	三島商工会議所	2009
お国自慢鰻料理百科	佐藤隆二／編 『サライ』編集部／編	小学館	1998

うなぎの調理方法は関東は背から、関西では腹から開く。蒲焼も蒸してから焼いたり、焼いてから櫃まぶしにしたり。食べ方は地域によって千差万別。おいしそうなうなぎの写真に、思わずゴクリとつばをのむ。

鰻 お国自慢 サライ 1997 年 8 月 7 日号	小学館	1997
----------------------------	-----	------



うなぎを食べる うなぎの食べかたいろいろ

すし 天ぷら 蕎麦 うなぎ 江戸四大名物食の誕生 (ちくま文芸文庫)	飯野亮一／著	筑摩書房	2016
東京五つ星の鰻と天麩羅 新訂版	見田盛夫／選	東京書籍	2017

江戸前の流儀 巨匠の技と心	早乙女哲哉／著 小野二郎／著 金本兼次郎／著	中経出版	2009
うなぎでワインが飲めますか？ そば、てんぷら、チョコレート までのワイン相性術	田崎真也／[著]	角川書店	2006
ウナギのふしぎ 驚き！世界の鰻食文化	リチャード・シュ ヴァイド／著 梶山あゆみ／訳	日本経済新聞 社	2005
昭和天皇と鰻茶漬 陛下一代の料理番	谷部金次郎／著	河出書房新社	2001
うなぎひと筋に生きる	別府汀子／著	文化出版局	1985

4代にわたるうなぎ業の家に生まれ、子どものころからうなぎと職人のかたわらで育った著者。うなぎへの愛情あふれる半生記。

現代フランス料理全集 3 さけ・ます・うなぎ・えび・貝	辻静雄／編著	柴田書店	1981
すし、うなぎ、てんぷら 林修が語る食の美学	林修／著	宝島社	2015
文献茂吉と鰻	林谷廣／著	短歌新聞社	1981

大の鰻好きの茂吉。息子の斎藤茂太の婚約が決まったとき、未来のお嫁さんが胸をいっぱいにしてウナギに手がつけられないのをみて、サッと奪ったり、講演依頼を断ろうとしたのに、結局「鰻の蒲焼」に釣られてしまい、見事に語ったというエピソードが描かれる。

大江戸番付づくし 江戸の暮らしとホンネ	石川英輔／著	実業之日本社	2001
------------------------	--------	--------	------

江戸時代の人々は面白半分にも何でも序列をつけた。「見立て番付」という一覧表の形式は、見慣れた相撲番付の形式を借りる場合が多かった。江戸で多かったのは料理屋の番付だったが、p21には「江戸前 大蒲焼」の番付があり、人気のお店二百五軒の名前が並んでいる。これだけの店が並びということは、江戸の庶民も、うなぎには目がなかったのではないだろうか。



うなぎを育てる もっと知りたい方へ

日本の魚類養殖と配合飼料 日本養魚飼料協会40年史	日本養魚飼料 協会	2007
クローズアップ ウナギの謎に迫る産卵場調査 養殖ビジネス 2012年8月号	緑書房	2012

よくわかる！世界の養殖業 マグロ、ウナギ、エビなどの生産動向を徹底解説 養殖臨時増刊号 第47巻4号 通巻589号	緑書房	2010	
特集 新しい動きを見せるウナギ養殖産地 養殖 第46巻9号 通巻581号	緑書房	2009	
シリーズ／うなぎの世界1～10「全水卸」 305～314号	全国中央市場 水産卸協会	2008 ～ 2009	
(1)ウナギ料理と文化 (2)河川でのウナギ漁獲の歴史 (3)ウナギの大航海と産卵場 (4)関西でのウナギ生産・流通の歴史 (5)輸入ウナギの安全安心問題 (6)ウナギの消費について (7)シラスウナギの捕獲と流通 (8)ウナギの漁具 (9)ウナギ養殖業の経営 (10)ウナギ養殖の歴史			
うなぎを増やす 2訂版	廣瀬慶二／著	成山堂書店	2014
有明海のウナギは語る 食と生態系の未来	中尾勘悟／著 久保正敏／編著	千里文化財団	2023
ウナギ養殖業の歴史	増井好男／著	筑波書房	2013
ウナギの初期生活史と種苗生産 の展望	多部田修／編	恒星社厚生閣	1996
大洋に一粒の卵を求めて 東大研究船、ウナギ一億年の謎 に挑む（新潮文庫）	塚本勝巳／著	新潮社	2015

広大な海で直径1.6ミリの卵を探しあてた世紀の大発見。『世界で一番
詳しいウナギの話』の改題増補。

ヨーロッパウナギの養殖	養鰻研究協議会 ／編著	日本水産資源 保護協会	1979
鰻学 生物学的研究篇	松井魁／著	恒星社厚生閣	1972
鰻学 養成技術篇	松井魁／著	恒星社厚生閣	1972
養魚講座 第7巻 鰻	松井魁／[ほか] 著	緑書房	1971
シラスウナギ生態調査概要報告 昭和45年6月		静岡県水産 試験場	1970
ウナギの保全生態学 (共立スマートセレクション 8)	海部健三／著 鷺谷いづみ／コー ディネーター	共立出版	2016
ウナギの科学 (シリーズ〈水産の科学〉 2)	塚本勝巳／編著	朝倉書店	2019



心の中のうなぎ

小説やエッセイに描かれたうなぎ

鰻（紙礫 5）	石川博／編	皓星社	2017
オサキ鰻大食い合戦へ （宝島社文庫）	高橋由太／著	宝島社	2010
新月の夜、南の海で	鹿野苑俊／著	文芸社	2008
冬のウナギと夏のふぐ新潮文庫）	渡辺淳一／著	新潮社	2008
旅うなぎ（ハルキ文庫）	和田はつ子／著	角川春樹事務所	2009
うなぎ丸の航海（講談社文庫）	阿井渉介／著	講談社	2007
あたり 魚信	山本甲士／著	文藝春秋	2008
片意地へんくつ一本気 下田うなぎ屋風流断	高橋治／著	文藝春秋	1997
鰻屋物語	森成人／著	日本図書刊行会	1994
鰻の寝床	内海隆一郎／著	光文社	1997
鰻の瞬き	村松友視／著	小学館	2001
随筆深川のうなぎ	宮川曼魚／著	住吉書店	1953
うなぎ 人情小説集（ちくま文庫）	日本ペンクラブ ／編 浅田次郎 ／選	筑摩書房	2016
うなぎと日本人（角川文庫）	阿川弘之／[ほか 著]	KADOKAWA	2016
うなぎ女子（光文社文庫）	加藤元／著	光文社	2020
うなぎばか	倉田タカシ／著	早川書房	2018
文豪と食 食べ物にまつわる珠玉の作品集	長山靖生／編 森鷗外／[ほか 著]	中央公論新社	2019
ザシキワラシと婆さま夜語り 遠野のむかし話	佐々木喜善／著	河出書房新社	2020
関西怪談（竹書房怪談文庫）	田辺青蛙／著	竹書房	2020
白子の柚子釜（ハルキ文庫）	中島久枝／著	角川春樹事務所	2020
京都四条月岡サヨの小鍋茶屋	柏井壽／著	講談社	2020
黒いサカナ	保坂祐希／著	ポプラ社	2020

幻想童話名作選 文豪怪異小品集特別篇	泉鏡花／ほか著	平凡社	2021
ウマシ（中公文庫）	伊藤比呂美／著	中央公論新社	2021
鰻と甘酒（幻冬舎時代小説文庫）	岡本さとる／著	幻冬舎	2021
恋のかわら版 うかれ堂騒動記（小学館文庫）	吉森大祐／著	小学館	2022
目から鱗の落ちる話	末広恭雄／著	柏書房	1989
神屋宗湛の残した日記	井伏鱒二／著	講談社	1995
文学ご馳走帖	野瀬泰申／著	幻冬舎	2016
ウナギが故郷に帰るとき （新潮文庫）	パトリック・スヴェンソン／[著] 大沢章子／訳	新潮社	2023



雑誌・新聞 最新のうなぎ

うなぎ百撰〔季刊雑誌〕	うなぎ百撰会	2008.1 ～
-------------	--------	-------------

全国のうなぎ店をつなぐ雑誌。最新のトピックスのほかにも、うなぎ川柳やエッセイ、うなぎ好きの有名人へのインタビューなど、楽しいよみものがいっぱい。2013 年正月号では、北浦和図書館「うなぎコーナー」が紹介されている。（p13）

日本養殖新聞〔旬刊〕	日本養殖新聞	5 年 保存
------------	--------	-----------

知る人ぞ知るうなぎの業界紙。日本だけでなく、世界の動きがわかり、業界人の熱い想いが伝わるもの。毎月 5・15・25 日に発行。



CD 聴くうなぎ

うなぎ小唄	やなせたかし／〔ほか〕 歌	2005
-------	---------------	------

「うなぎ小唄」のほかに「ヌラヌラソング」「なにもかも彩」の 3 曲を収録。いろいろなバージョンになっている。

うな太郎の大冒険	嘉門達夫／歌	2011
----------	--------	------

楽しそうな歌声が元気をくれる「うな太郎の大冒険」にはオリジナルカラオケもあり。



子ども向け うなぎの本 ちしきの本

ウナギのひみつ (大型絵本 かがくとなかよし)	カレン・ウォレス ／文 マイク・ボ ストク／絵 百々佐利子／訳	岩波書店	1996
ウナギのいる川いない川 (ポプラサイエンスランド 5)	内山りゅう／著	ポプラ社	2016
ウナギのふるさとをさがして	望岡典隆／文 狼林／絵	福音館書店	2005
月刊ポプラディア 2009年7・8月合併号 特集 なぞがいっぱい! ウナギのくらし		ポプラ社	2009
どうなるの?未来の食べもの 最新のフードテックの世界に 潜入! 3	清水洋美／著	汐文社	2023
ふしぎだらけのウナギ	黒木真理／監修	岩崎書店	2023
ウナギとりの夏	みやわきまさお ／文・絵	福音館書店	2012

夏休みにおじいちゃんと川にウナギとりに出かけた小学生のケンくん。ウナギを「とって、さばいて、食べる」という人間の営みの中に、先人たちの知恵や工夫がいっぱい。自然の中で生きるウナギと、そのとり方が丁寧に描かれた絵本。

絵本

うなぎさんによろり	なかのひろたか ／作・絵	ひさかたチャイルド	2009
てんまのとらやん	中川健蔵／ぶん 関屋敏隆／え	トモ企画	1987
うなぎのうーちゃんだいぼうけん	くろきまり／文 すがいひでかず/ 絵	福音館書店	2014
のらくらとらやん	なかむらみさこ ／ぶん わたな べさぶろう／え	ひかりのくに	1994

よみもの

とらやんの大ぼうけん	二反長半／著 梅田俊作／画	あかね書房	1977
------------	------------------	-------	------

いたずらぎつねおさん	山下明生／著 梶山俊夫／画	あかね書房	1975
少年動物誌	河合雅雄／[著]	福音館書店	1977

モンキー博士と呼ばれ、霊長類学者・児童文学作家である著者が自然と触れ合って過ごした少年時代を描いた本。短編「水底の岩穴にひそむもの」の中で、少年は、川底のウナギと格闘する。その力強さに圧倒されながらも必死に捕まえる。

長鼻くんといううなぎの話	コンスタンチ・イ オシーホフ／著 松井孝爾／絵	講談社	1974
もくべえのうなぎのぼり	さねとうあきら ／文 いのうえ ようすけ／画	教育画劇	2003
えほん寄席 抱腹絶倒の巻	柳亭市馬／[ほか] 嘶 スズキコージ ／[ほか] 絵	小学館	2007
うなぎの天のぼりほか 第3版	小沢正／文 福田岩緒／絵	チャイルド本社	2020
ボヘミアの森と川そして魚たち とぼく	オタ・パヴェル／ 著 菅寿美／訳 中村和博／訳	未知谷	2020
少年釣り師・住谷陽平	日比茂樹／著 宮本忠夫／絵	偕成社	1990
ゆかいな吉四六さん	富田博之／著	講学館	1980

紙芝居

うなぎにきいて	桂文我／脚本 長谷川義史／絵	童心社	2005
ゲンさんのてんのぼり	菊池俊／脚色 塩田守男／絵	教育画劇	1993
ごんたさんのうなぎとり	川崎大治／文 金沢佑光／画	童心社	1977

[お願い]北浦和図書館では、うなぎ、サツマイモに関する資料を積極的に集めています。資料（図書に限らず、小冊子、パンフレット、論文等）の情報や、ご著書などありましたら、ぜひお知らせください。

編集・発行／さいたま市立北浦和図書館 発行日／令和5年10月31日 第15版
〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和 1-4-2
TEL 048-(832)2321 FAX048(832)2324